

今、我々に出来ることを… 被災地へ送る自転車を整備し

ACTIVE KUMIAI

山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県自転車軽自動車商協同組合（飯塚栄理事長）は、去る7月6日、山梨県中北建設事務所の要請により、東日本大震災の被災地へ届けるための自転車の整備を行った。これは、同事務所が管理する放置自転車の内、半年間保管したが、引き取り手のない再利用可能な自転車を整備し、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田市へ提供するもの。送られた自転車は、通学していた学校が津波被害に遭い、別の離れた学校に通わなければならないとなった地元の中学生に送られる。その再利用可能な放置自転車を整備するため、同事務所から当組合へ要請があり、それを当組合が引き受けたものである。



当組合の組合員にて整備した自転車の積み込み作業

整備当日、少しでも被災地復興の力になろうと組合員4名が中北建設事務所に集まり作業を行った。参加した組合員は、持っている自転車技術を發揮して、ベルトやブレーキワイヤー、カゴや鍵、ベル等の部品の取り替えや修理、安全整備等を行った。対象の放置自転車は32台あったが、その内、修理を行い再利用できる状態へ戻せたものが25台。飯塚理事長は、「今回の震災で、我々の同業の間達も被害を受けている。災害に遭った方々のために、今、



7月12日、整備した自転車は岩手県陸前高田市に送られた

我々が出来ることをしていきたい。今後、このような機会があれば、また協力していきたい。」と述べ、このことが少しでも被災地の方々のためになることを願っていた。整備した自転車は、7月12日、被災地である岩手県陸前高田市に届けられた。